アクションプラン記入シート 事業場名 <u>「 製造 B チーム </u>」

ミッション(宣言)	従業員ひとり一人が能力を発揮できる職場環境を実現する
ビジョン(将来像)	従業員が満足でき、社会から信頼される会社

	労働時間関係
	・その人にしかできない業務が多く、特定の従業員の労働時間が長い。
	長時間働くほうが会社に評価される。
	・ギリギリの人員のため、残業に頼ってしまう。
	・担当業務が固定化されているため、他の業務・部署に関心がない。
	(特に、現場・設計業務、検査部門については恒常的な長時間労働である)
現状分析	・繁閑の差がありすぎて、採用ができない。
~/U'///J'///	5 No. 20 A A A 1 B B 3 C A B 3
	年次有給休暇·休暇関係
	·部署·業務によって年次有給休暇の取得率·労働時間に隔たりがある。
	・正社員・管理職の年次有給休暇の取得率が特に低い。
	・上司の年休取得率が低いため、年休を取得しづらい環境にある。
	→製造部門は、年休を取得することにより他の人の負担が増えるために取得を控えてしまう傾向
	にある。
	・各部署間での応援体制の整備が必要。
	・会社全体、各部署、各労働者の業務量の見直しを行う。
+m n-	・年次有給休暇の取得しやすい環境を整える。
課題	・定時に帰宅する職場風土を構築する。
	・管理者により時間外・年次有給休暇の取得率に隔たりがあるので、管理者の理解を高
	人 める。
	・人材育成、定着率の向上を図る必要がある。



ゴール

- ・時間外労働の削減、年次有給休暇取得率の向上
- ・各労働者の労働時間・業務の進捗状況の見える化
- ・残業の事前申請制度、残業の評価制度の導入

課題解決・ゴール達成に向けた取組計画

スケジュール	課題解決に向けた取組
長期的な取組(3~5年)	PDCAサイクルを導入し、よりよい職場環境を目指す。 「イキイキ社員」が増える労働環境を形成し、生産効率の向上を図る。
	年次有給休暇の計画的付与及び時間単位付与制度の導入する。 ヒアリング調査をして、個々のスタッフの意見を聞く体制を構築する。 個人、部署、会社全体の業務進捗度の見える化及び情報の共有化を進める。 残業の許可制を導入する。 部門間の相互応援体制を整備する。
当面(3か月程度)の取組	各労働者、部署ごとの業務量・配置について調査及び調査結果を分析する。 各自の年次有給休暇取得率の見える化を進める。 意見交換会・業務改善委員会等の開催する。